

大野北公民館

利用協通信

第 1 1 号 平成 2 4 年 3 月 1 0 日

大野北公民館利用サークル協議会 発行

相模原市鹿沼台 1-10-20

大野北公民館内 電話 042-755-6601

サークル懇談会など

安達和夫

平成 2 3 年度後期の事業として、1 0 月 2 9 日にサークル懇談会を開催しました。その中の学習会では、大東文化大講師の片野先生をお招きして「公民館で何を学ぶか」について講演して頂きました。

今更というテーマではありませんが、もう一度、公民館での学習の在り方について確かめようという趣旨でした。「公民館が施設を提供する趣旨は、単なる貸館としてではなく、公民館で学び、加えてその成果を



片野先生の講演「公民館で何を学ぶか」

地域に還元して頂くことにあり、町のカルチャーセンターとは、そこが違う」ことを強調されました。

そうした地域還元の方法は、利用協の各種事業を通して、また新設された大野北公民館共同企画事業制度などを通して進めることが出来そうですので、積極的に参加して頂ければと思います。

また利用協の主催事業ではありませんが、9 月の国際交流事業「アフリカフェスティバル」や 1 2 月の「イルミネーション点灯式」には、役員・幹事の方々を中心に参加して頂きました。色々と苦勞する部分もありましたが、他の参加団体とともに事業を支える力になったことを嬉しく思います。

幹事バス視察研修

河本耕生

1 1 月 1 1 日（金）、あいにくの雨天でしたが、横浜海上防災基地へ視察研修してきました。参加者は 3 3 名でした。

バス研修の視察先を検討する場合、利用協の目的・主旨にあっているか、社会情勢や時節に合っているか、そして団体で事前の申込みをしなければ視察出来ない施設等を考慮してさがします。今回は東日本大震災での津波の被害者救出や行方不明者の捜索を行っている海上保安庁の訓練施設にしました。又この施設はテレビドラマ『海猿』のロケを行った場所でもあります。当初、防災基地側は施設見学の申込みに対して難色を示していましたが、なんとか了解を得ることができました。

当日、午前中はグループごとに山下公園近辺を散策し、横浜港を見渡せるレストランで昼食を取りました。その後バスで防災基地に移動しました。

私たち一行は最初に研修室に案内され、幹部の歓迎の挨拶、そして海上保安庁の業務について DV を見ながら研修しました。治安の確保・領海を守る・人命を救う・災害に備える・海を護る・海を識る・海の交通安全を守る・海を繋ぐ等、海に関わる多



最新鋭の巡視船『しきね』操縦室を見学

くのことに携わっていることを学びました。その後、訓練棟のいろいろな施設を見学し説明をうけました。訓練棟の見学の後、バスで移動し最新鋭の巡視艇『しきね』に搭乗しました。艇内を見学し操舵室に案内され説明をうけました。また一部の器械の操作もさせてもらいました。最後に資料館に案内され平成 1 3 年 1 2 月に起きた工伴船事件の説明を受けました。資料館を出たとき第三管区海上保安本部では最大の

巡視船『しきしま』が着岸する場面に遭遇し、その大きさを間近で見ることができました。

今回の視察研修は一般の民間人では見学が難しい施設でした。公民館を利用して学ぶ人たちにとっては貴重な研修になったこととおもいます。

楽しい一日を有難う

小林利恵子

皆さまこんにちは、去年11月11日（金）利用協主催の「幹事視察研修」に参加させて頂きました。この日はあいにくの雨降りで、とても寒い日でした。「誰だ？雨男は？雨女か？」

研修地は海上保安庁「横浜海上防災基地」。9時出発、バスの中で諸注意の説明があり、今日一日どんな楽しい事が有るのかウキウキとしていました。11時頃神奈川県民ホール着、雨の中、グループに分かれての自由行動、私達のグループは「横浜開港資料館」へ向かいました。300余年の鎖国を破ったペリー来航により大きく変わった日本、横浜の様子を紹介されました。

昼食を済ませていよいよ「横浜海上防災基地」に向かい、初めての「訓練棟」を見学、この施設には深いプールが有り、海猿達がシュノーケルを付け練習をしていました。つづいて巡視船に乗船見学、狭い船内が片付いて、スキ間なく上手に利用されているのには見習うものがありました。

操舵室にも入る事が出来、船長の椅子に座らせて頂き一同満悦！海上保安庁の大型巡視船の船名は山、岬、半島、島の名、などを付けているそうです。



深いプールで海猿達が訓練中

「しきね」は伊豆の式根島に由来し、命名されたそうです。又北朝鮮の工作船資料館を見学出来、国の体制を考えさせられました。

この度の研修は河本耕生さんの取り計らいで実現したとの事、お疲れさま、そして楽しい一日を有難うございました。

年末大掃除を終えて

山田政枝

平成23年3月11日、東日本大震災が発生し、今までに経験したことのない大災害は原発事故も誘発し、利用サークル協議会は公民館まつりを中止しました。私達に何か出来ないかと検討し今までと違うチャリティ交流会を行なうことが出来ました。今年は一一人が色々な面で真剣に考えさせられた一年であったように思います。このような時、学習会に片野先生の講演が行なわれ、公民館の原点を通し、公民館の学びを地域に還元することの大事さを学ぶことが出来、本当に良かったと思えました。



年末大掃除に多数が参加

役員、幹事の方々が積極的に力を出して下さり、今まで受付の出席確認することが大変で、何とか解消したいと相談した所、皆さんの知恵で、参加者一人一人に、自分の掃除の場所を確認していただくことになり、今まで以上に各室担当の責任を明確にしました。ど

ない大災害は原発事故も誘発し、利用サークル協議会は公民館まつりを中止しました。私達に何か出来ないかと検討し今までと違うチャリティ交流会を行なうことが出来ました。今年は一一人が色々な面で真剣に考えさせられた一年であったように思います。このような時、学習会に片野先生の講演が行なわれ、公民館の原点を通し、公民館の学びを地域に還元することの大事さを学ぶことが出来、本当に良かったと思えました。

又私の担当である年末大掃除では



茶室の障子も全部張り替えです

のようになるか心配しましたが、二〇八名の参加で、受付の大変さも解消することが出来ました。毎年大変な料理実習室、茶室の障子張りも、担当役員と参加者の努力でスムーズに終わりました。ありがとうございます。（毎年同じ場所にならないよう努力しています。）一人一人の力は小さいけれども皆の話し合いによりよい結果を作り出せることを実感しました。これも地域還元の一つの行動だと思います。これからも利用サークル協議会の活動に参加していただき、慣れないことにも挑戦され、皆で助け合いながら楽しく活動出来る場に、活動の中で、一人一人が少しでも還元しようとする心を育てていきたいなと思います。今後もサークルの皆様にご利用します。